

患者の皆様へ

2019年9月13日

食道・胃腸外科

現在、食道・胃腸外科では、「難治性悪性腫瘍の患者組織移植モデル解析を用いた個別化医療の実現」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では食道がん、胃がん、大腸がん、その他の消化器悪性腫瘍の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「難治性悪性腫瘍の患者組織移植モデル (Patient-derived xenograft ; PDX) 解析を用いた個別化医療の実現」

2. 研究の意義・目的 「腫瘍組織由来の動物モデルを作成・解析し、個別化医療実現のための病態解明や新規治療につなげる知見を得ることを目的とします」

3. 研究の方法 「令和元年9月13日から令和4年3月31日の間において、悪性腫瘍の検体を用いて動物モデルを作成し、遺伝子解析を含めた解析を行います。診療録に記載されている血液検査値や画像所見、治療効果などの情報を使用します」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学

本件のお問合せ先 : 千葉大学大学院医学研究院
先端応用外科学 教授 松原 久裕

千葉大学医学部附属病院
食道・胃腸外科 助教 松本 泰典
043 (222) 7171 内線 5294 (先端応用外科学受付)